

兵庫県自治賞受賞者名簿（敬称略）

兵庫県自治賞は、自治の精神に基づき、明るく住みよい地域社会づくりに貢献し、その功績が優れた方に贈られる賞です。

功 勞	市町名	氏 名	役 職
女性・消費生活	たつの市	ふじわら じゅんこ 富士原 順子	たつの市更正保護女性会理事・会計
女性・消費生活	赤穂市	おおにし のりこ 大西 則子	赤穂市消費者協会理事・副会長
女性・消費生活	赤穂市	かなお かずよ 金尾 和代	赤穂市消費者協会理事・会計
女性・消費生活	上郡町	たかの たまき 高野 環	上郡町商工会女性部長・副部長
労働	相生市	みわ あきひろ 三輪 明洋	連合兵庫西部地域協議会議長代理 連合兵庫西播地域協議会幹事・議長
地域安全	相生市	こにし つよし 小西 毅	相生交通安全協会自家用自動車協会副会長

（計6名）

兵庫県くすのき賞受賞団体名簿

兵庫県くすのき賞は、ボランティア活動等を通じ、人間連帯の輪を広げ、こころ豊かな地域社会づくりに貢献し、その功績が優れた団体に贈られる賞です。

市町名	団体名 (代表者名)	功績
たつの市	コープサークル すいそうがくだんるぼーと 「吹奏楽団rubato ちやちや (茶々ルバ)」 (竹内 利行)	学生から社会人まで幅広い年齢層のメンバーが活動する「吹奏楽団 rubato」は、たつの市などの小学校・中学校とも交流するなどして、月に1回、コープ龍野店舗内にあるコープのつどい場「すーぷ・スーぷ・CO・OP」で、“地域の憩いの居場所となるように…”との思いから「茶々ルバ」としてふれあい喫茶を開催している。その祭に、個包装のお菓子を提供し、子どもたちと工作やわなげ大会、キーホルダー作りをするなど、地域の人たちとの交流を深めており、こころ豊かな地域社会づくりに貢献している。
宍粟市	しろうわだいきくらぶ 宍粟和太鼓アーツ倶楽部 (志水 昭彦)	「宍粟和太鼓アーツ倶楽部」は宍粟市内を中心に小学生以上の参加者が在籍する和太鼓グループで、これまでに出演したステージは70を越え、夏祭りや成人式などのイベントのほかに、障がい者就労支援施設や特別養護老人ホームでの出演も多くあり、地域に活力を与えている。また、進学や就職を機に地元を離れる者が多いが、演奏の機会があれば帰郷し、参加するなど若者が活躍する地域環境の形成に貢献している。現在も小学生から70代までの幅広い年齢層の演者が活動し、交流の場としての役割を果たすなどこころ豊かな地域社会づくりに貢献している。
西宮市 (活動地域： 佐用町)	チャコネット (瓦林 裕英)	平成21年台風9号災害での支援活動を契機に、佐用町の久崎地域をフィールドとして活動する関西学院大学学生約60名のボランティア組織チャコネットは、被災以降、久崎地域の竹炭職人である地域住民とともに、災害時に使用する消臭や調湿効果を持つ竹炭に着目し、竹炭の生産や商品化のほか、竹林整備などに貢献したり、被災住民へ足湯を提供したり、憩いの場であるカフェを実施する等被災者に寄り添った活動を行った。現在は被災地支援活動から、地域活性化などの地域づくり活動として、久崎地域の「高瀬舟まつり」や「久崎市」、上月地域の「桜まつり」などの各種イベントに参加するほか、久崎地域にある日本語学校の防災学習にも参加するなど、多方面に活動しこころ豊かな地域社会づくりに貢献している。

市町名	団体名 (代表者名)	功 績
佐用町	さよう ^{ほうさい} 防災リーダー 連絡会 ^{れんらくかい} (春名 政男)	<p>平成 30 年 11 月設立されたさよう防災リーダー連絡会は、ひょうご防災リーダー講座修了者や防災士等の資格を有する町民等で組織され、会員相互の情報交換・勉強会の場である毎月 1 回の定例会の開催や県主催の防災リーダー講座に積極的に参加するなど自己研鑽に努めている。また町主催等の防災研修にボランティアスタッフとして参加したり、地域や学校主催の防災出前講座などにボランティア講師として出向いたりするなど、習得した知識等を、町や地域に還元するなど、こころ豊かな地域社会づくりに貢献している。</p>

(計 4 団体)

兵庫県こうのとり賞受賞者名簿（敬称略）

兵庫県こうのとり賞は、自律の心に根ざし、参画と協働による地域づくりに貢献し、その功績が優れた方に贈られる賞です。

市町名	氏名	功績
相生市	わかお 新一 若尾 新一	令和元年度から現在に至るまで、ボランティアで西播磨ふるさと芸術文化振興事業実行委員会「西播磨ふるさと写真展」実行委員会の委員として、西播磨・中播磨地域の写真愛好家等を対象とした写真コンテストを開催し、企画・運営面でも活躍している。西播磨・中播磨全域の写真の技量の向上や交流の輪の拡大など文化活動の活性化に貢献している。また、地域活動においても相生市文化協会の中心者として活動するなどこころ豊かな美しい兵庫の実現に貢献している。
相生市	たはら かずよし 田原 一義	平成24年6月から令和6年6月までの12年間、相生市社会福祉協議会那波支部支部長として、福祉活動の発展に貢献した。夏祭りや秋祭り、ふれあい作品展などの交流行事を開催するとともに、定期的な公園、神社などの清掃活動、災害発生時の要援助者に係る援助方法の確認を行った。また、地域のふれあいいきいきサロンや放課後子供活動等を通して、平時から困ったときに支え合える地域のコミュニティづくりに努めた。さらに、地域福祉の向上のための研修会への参加や定期的な住民同士の連絡会を開催するなど、こころ豊かな美しい兵庫の実現に貢献している。
たつの市	よしかわ かよこ 吉川 加代子	令和元年6月より「西播磨生活創造応援隊」の隊員として、西播磨文化会館において様々な活動を行う生活創造活動グループについて、情報の収集・整理等の支援をしており、交流会においては舞台準備の裏方として積極的に役割を果たしている。年4回発行の西播磨生活創造しんぶん「ネットめばえ」の取材記事を書き、毎月編集会議を開催とともに、西播磨文化会館の主催行事でボランティアとしてイベントの司会進行などを努めている。また西播磨文化会館インターネット寺子屋塾代表（R3～）としてシニアのパソコン学習推進に貢献するなどこころ豊かな美しい兵庫の実現に貢献している。
たつの市	しちじょう あきこ 七條 章子	西播磨短歌祭の部会員、実行委員として平成31年度から西播磨短歌祭の運営に携わっている。中播磨・西播磨の短歌愛好家、学生の応募作品から各賞の選考委員としての重責を担い、表彰に携わるとともに、短歌祭では講師として、作品の鑑賞、講評をおこない短歌祭を通じて創作意欲の高揚、技量の向上や文化の交流を図っている。また平成10年頃から歌会「コスモス」に所属し、約15年間、意欲的に活動、その後地域でサロンの場を開き、短歌等をテーマに、学習・交流を促進するなどこころ豊かな美しい兵庫の実現に貢献している。

市町名	氏 名	功 績
太子町	ふじい ゆきかず 藤井 幸一	<p>平成 11 年 3 月、揖保郡太子町太田に「社会福祉法人あすか会」を設立し、以降 25 年もの永きにわたり、障害者支援施設をはじめ、生活介護事業所や就労継続支援 B 型事業所などを開設、運営している。その中で本業の傍ら無償で、障害者や引きこもり支援施設の地域開放、暑い夏の学びを応援する「夏休み みんなの学習スペース」の開設、キッチンカーの出店やイベント、花火の無料配布などを行う「ちゃのきの夏まつり」の開催、働く発達障害者を対象とした当事者会（茶話会）や心理カウンセラー等による講演会を開催している。また、令和 2 年より太子町と民間企業との協働プロジェクトを開催し、令和 5 年 2 月には町内の福祉の向上や地域活性化等の分野で町と包括連携協定も締結するなど、地域青少年活動やコミュニティの活性化、支え合い、居場所づくりなどの活動を幅広く実践するなど、こころ豊かな美しい兵庫の実現に貢献している。</p>
佐用町	あおき えいき 碧木 栄基	<p>佐用町は平成 21 年台風第 9 号の被災し、平成 27 年度から小学生を対象にプログラム化した防災教育を、総合学習の一環として実施している。氏はその趣旨に賛同し、佐用小学校で行われている防災教育（平成 28 年度までは「防災学習」、令和元年度からは「防災まちあるき」と呼ぶ）に、平成 28 年度から地域のゲストティーチャーとしてボランティアで活動し、小学生に対し当時の浸水害の状況や、自らが経験したことを、実際に地域を歩きながら学習を行い、当事者としてリアルに講話し、生徒及び学校から好評を得ており、こころ豊かな美しい兵庫の実現に貢献している。</p>
佐用町	くぼ まさひこ 久保 正彦	<p>佐用町は平成 21 年台風第 9 号の被災し、平成 27 年度から小学生を対象にプログラム化した防災教育を、総合学習の一環として実施している。氏はその趣旨に賛同し、佐用小学校で行われている防災教育（平成 30 年度までは「防災学習」、令和元年度からは「防災まちあるき」と呼ぶ）に、平成 30 年度から地域のゲストティーチャーとしてボランティアで活動し、小学生に対し当時の浸水害の状況や、自らが経験したことを、実際に地域を歩きながら学習を行い、当事者としてリアルに講話し、生徒及び学校から好評を得ており、こころ豊かな美しい兵庫の実現に貢献している。</p>
佐用町	よほだ こうじ 四方田 康次	<p>佐用町は平成 21 年台風第 9 号の被災し、平成 27 年度から小学生を対象にプログラム化した防災教育を、総合学習の一環として実施している。氏はその趣旨に賛同し、佐用小学校で行われている防災教育（平成 30 年度までは「防災学習」、令和元年度からは「防災まちあるき」と呼ぶ）に、令和元年度から地域のゲストティーチャーとしてボランティアで活動し、小学生に対し当時の浸水害の状況や、自らが経験したことを、実際に地域を歩きながら学習を行い、当事者としてリアルに講話し、生徒及び学校から好評を得ており、こころ豊かな美しい兵庫の実現に貢献している。</p>

市町名	氏 名	功 績
佐用町	かわた よしお 川田 嘉男	<p>佐用町は平成 21 年台風第 9 号の被災し、平成 27 年度から小学生を対象にプログラム化した防災教育を、総合学習の一環として実施している。氏はその趣旨に賛同し、佐用小学校で行われている防災教育（平成 30 年度までは「防災学習」、令和元年度からは「防災まちあるき」と呼ぶ）に、令和 3 年度から地域のゲストティーチャーとしてボランティアで活動し、小学生に対し当時の浸水害の状況や、自らが経験したことを、実際に地域を歩きながら学習を行い、当事者としてリアルに講話し、生徒及び学校から好評を得ており、こころ豊かな美しい兵庫の実現に貢献している。</p>

(計 9 名)